

<基本情報>

所在地：鹿児島県出水市下鯖町

<農場概要>

- 面積：有機栽培水稻14ha
(うち有機JAS認証：約7ha)
- 栽培品目：米、麦、大豆、玉ねぎ



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 昭和58年（1983年）、農薬を多用する農業に疑問を感じ、農薬を減らしたいとの思いから、同じく有機農法を目指す仲間たちと一緒に有機農法を学び、その延長で**アイガモ農法**も開始。

<販売について>

- 当園で収穫した米は、商品名「合鴨米」「さわださんちのお米です」として、それぞれ、白米、玄米、分付米として販売。
- 平成29年（2017年）に有機JAS認証工場（はる菜）を整備し、あくまき、餅、山菜おこわ、米粉パンなどの加工食品の製造販売を開始。
- 有機あくまきは、鹿児島の竹の皮を天日に干して使用。木灰のあく独特の風味が特徴。有機JASマーク付きの自家製有機きな粉をまぶして販売。

有機あくまき
(有機きなこ添え)



有機JAS認証芋焼酎
(Hi-Five)



<新たな販売先として>

- 令和7年産の有機栽培米は、阿久根市の大石酒造において、有機JAS認証芋焼酎の原料として使用。

【お問合せ先】TEL.0996-67-0911

会社ホームページ：<https://sawadanouen.com/>

<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- **病虫害対策、雑草対策（アイガモ農法）**
当園では、アイガモ農法で、無農薬栽培を実施。アイガモ農法とは、水田にアイガモを放すことで、害虫や雑草を食べてもらい、農薬や除草剤がなくても稲を育てられる農法。アイガモは、ふ化0日のヒナから育て、14日齢で水田に放ち、60日齢ごろまで活躍。
- **土づくり**
当園では、稲わらと冬草をすき込み、肥料は菜種油粕とグアノを使用。有機肥料によって、土壤微生物の活性化により、土の団粒構造が形成され、「ふかふかの土」「肥料持ちの良い土」へ変化し、農作物が生長。

【アイガモ農法】



<苦労しているところ>

- 雑草対策。
- 夏場の暑さ対策。
- 夏場の高温等による減収。

<今後の展開>

- 有機農業を継続し、安定的に有機栽培米を消費者に提供。
- 仲間を増やして連携し、有機農業の更なる普及を目指す。